



電動ダンパー仕様で補足説明書が同梱されているものは、それに基づき電気工事をおこなってください。

安全上の注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他人の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをするおそれがあることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容です。必ず守ってください。
警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
絵表示の例
記号は行為を禁止する内容を告げるものです。
記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
記号は具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

- 警告
● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
● アースを確実に取り付けること
● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けを
● 交流 100V 以外では使用しないこと
● 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
● 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事をおこなうこと

- 注意
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 周囲温度が 40℃ 以上になると火災・故障の原因になります
● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
● 部品は必ず厚手の手袋をする
● 落下により、けがをするおそれがあります
● レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んでください
● 電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください
● アース（D 種接地工事）をしてください
● レンジフードが誤作動することがあります。

取り付け上のお願
● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的な資格者をおこなう必要があります。
● タクトの不燃処理について
● 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。
● 屋外壁面の排気口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m³/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。
● 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいじりやすく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
● 本体やダクトなどが他の電気製品と接触しないよう取り付けてください。

取り付け前の調査と準備
警告
● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けを
● 本体とダクトは、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用し可燃物を覆うこと
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
● 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
注意
● 取り扱いは必ず厚手の手袋をする
● 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けない
● レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んでください
● 取付面の強度確認
● 板張りの場合（取付面は必ず不燃処理をおこなってください）
● 電源コンセント・ブレーカー
● アース（D 種接地工事）をしてください
● レンジフードが誤作動することがあります。

各部のなまえ
電源プラグ、運動線、本体、フード、スイッチ（機種により異なります。）、リモコン受信部（機種により無い場合があります。）、吊り金具（750幅/900幅）、オイルバック、近接センサー、ランプカバー、ファン、整流板、磁石、吊り金具（600幅）

付属品
座付ねじ（φ 5.1 × 45）4 本
段付ねじ（M4 × 12）4 本
L 形ダクト 1 個
排気口 1 個
ソフトテープ 1 本
幕板セット 1 組

製品寸法図
（単位：mm）
A寸法 B寸法
600幅 600 521
750幅 750 640
900幅 900 640
左側排気仕様、右側排気仕様、アース接続端子詳細図

取り付けかた
1. 付属品の確認
2. 排気方向の決定
3. 排気用部品の準備
4. 本体の取り付け
注意
● 取り付けの際は必ず厚手の手袋をする
● 取り付けの際は必ず厚手の手袋をする
● 取り付けの際は必ず厚手の手袋をする
● 取り付けの際は必ず厚手の手袋をする

取り付けかたは裏面に続きます。

こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。
安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のお願いは表面をご覧ください。

取り付けかた（つづき）

3 本体を引っ掛け固定します。(図4-3)

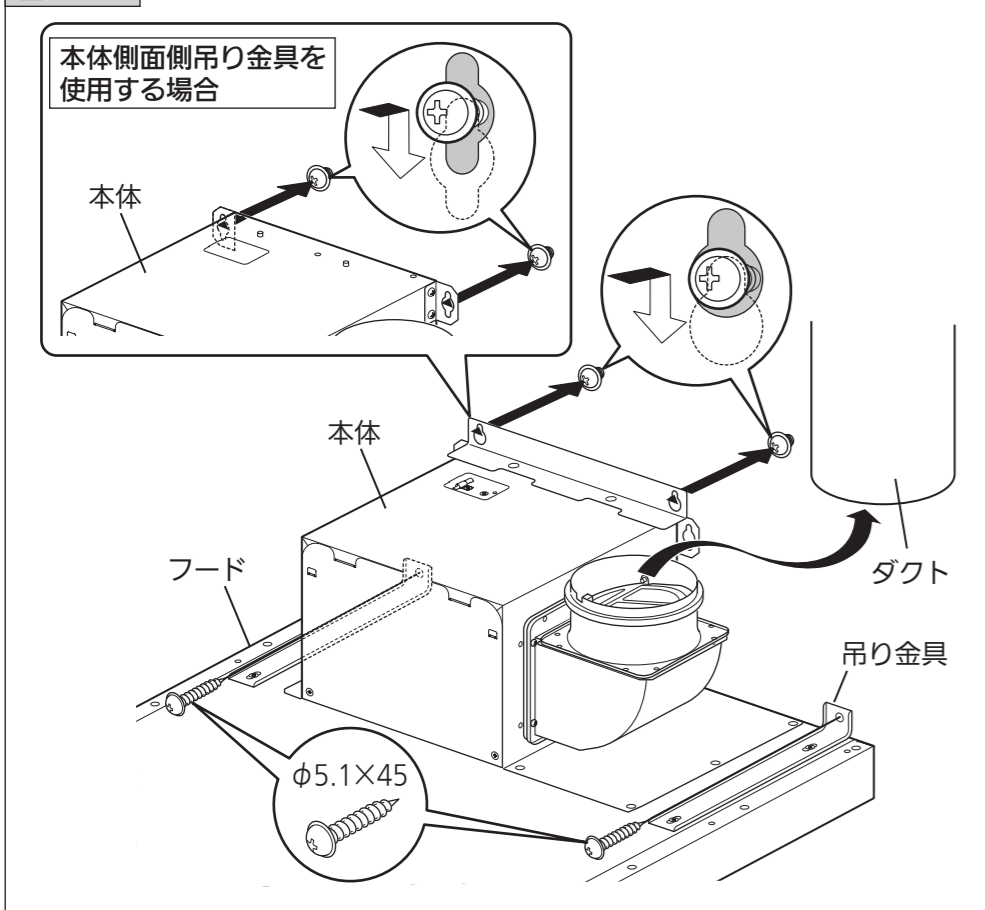
- 1) 座付ねじに本体のだるま穴を引っ掛けた後、座付ねじ2本をしっかりと締め付けてください。

お願い

上方排気・側方排気の場合は、ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

- 2) フード左右にある吊り金具の丸穴に、付属品の座付ねじ(φ5.1×45) 2本をねじ込み、しっかりと固定します。

図4-3



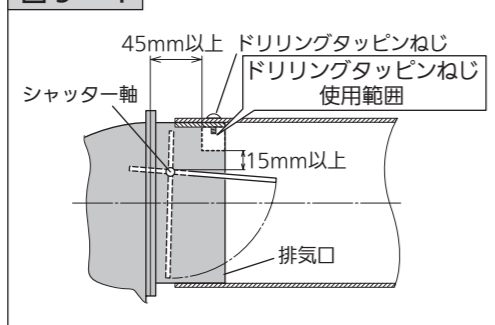
5. ダクトと排気用部品の接続

以下は右側排気の場合を示します。左側排気の場合は左右対称として見てください。

お願い

ドリリングタッピンねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじが当たらないように、図のドリリングタッピンねじ使用範囲内に固定してください。(図5-1)

図5-1



■ 上方・側方排気の場合(図5-2)

風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこなってください。

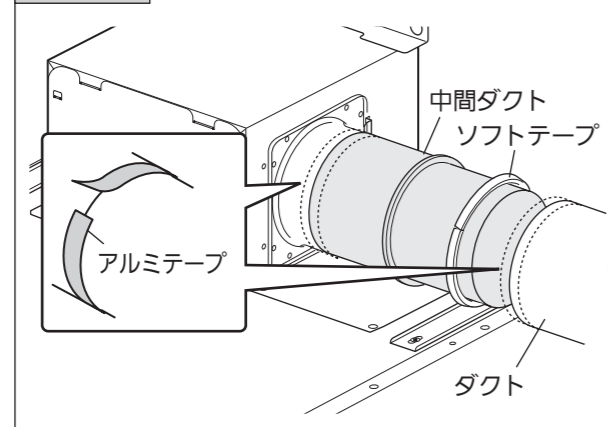
図5-2



■ 側方排気の場合(別売の中間ダクトを使用する場合)(図5-3)

中間ダクトのソフトテープ貼り付け側をダクトに挿入してください。その後、風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこなってください。

図5-3



■ 後方排気の場合(図5-4)

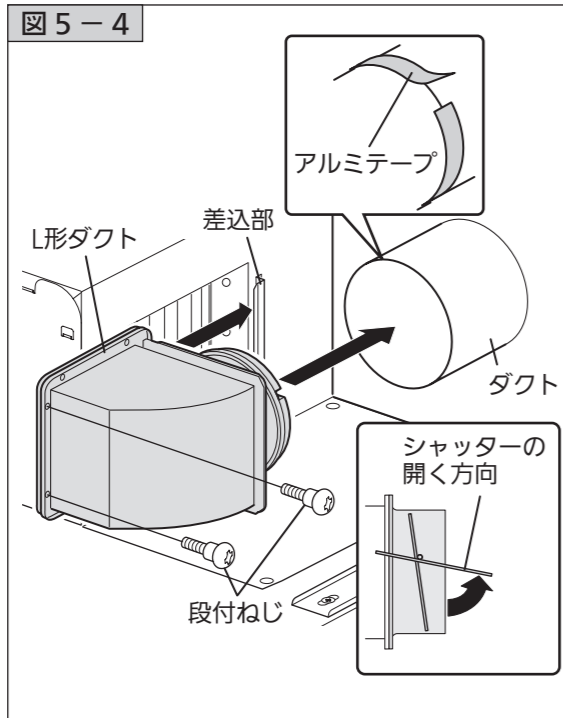
1 排気口をダクトに接続します。

- 1) 本体の排気口取付部に付いている取付ねじ2本をはずします。

- 2) L形ダクトを差込部に差し込みながら排気口をダクトに挿入し、はずしたねじ2本で固定します。

お願い

排気口を取り付ける際は、シャッターの開く向きに注意してください。誤った取り付けの場合、排気不良や異常音の原因になります。



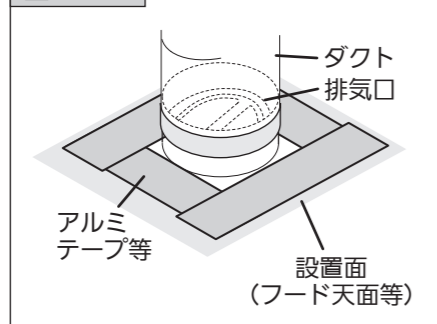
2 風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこないます。

■ 排気口設置面の漏風確認のお願い(図5-5)

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとすると、排気口と排気口の設置面(フード天面等)が変形し、排気漏れが発生してしまう場合があります。

排気漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転(強運転)をおこなってください。漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等(現場調達品)で漏風防止処置をおこなってください。

図5-5



6. 取扱説明書およびオイルパック固定テープの取りはずし

■ 保護用クッション材をいったん取りはずし、整流板に貼り付けてある取扱説明書をはずします。

■ 付属の取扱説明書を参照して整流板を取りはずし、オイルパックを固定しているテープをはがします。固定テープをはがした後は整流板をもとどりに取り付けてください。

7. 電気配線



● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



分解・修理・改造禁止



使用禁止

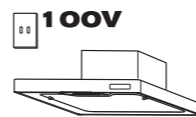


取付注意



アースを取り付ける

● 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります



● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります

● アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください

分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

お願い

- ・電源は専用のコンセント(2極差込接続器 15A、125V)およびブレーカーを設けてください。
- ・「9. 試運転」までブレーカーは「入」にしないでください。
- ・コンセントは電源コードの長さを考慮し、設置してください。
- ・必ずアース(D 種接地工事)をしてください。

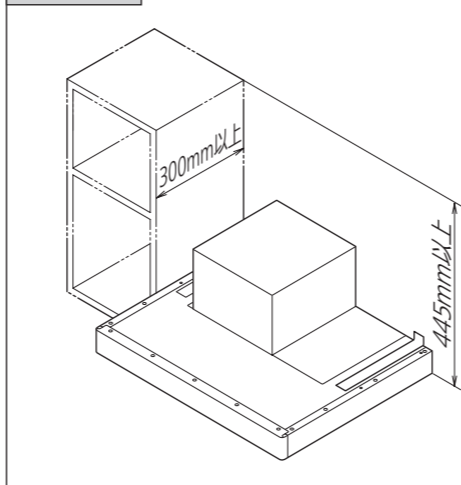
8. 幕板の取り付け

■ 取り付け前の寸法確認(図8-1)

フード下面から天井までの高さが445mm以上、また壁からキャビネット本体までの奥行きが300mm以上あるかそれぞれ確認してください。

※ 奥行きが300mm以下の場合は別売の横幕板をご使用ください。

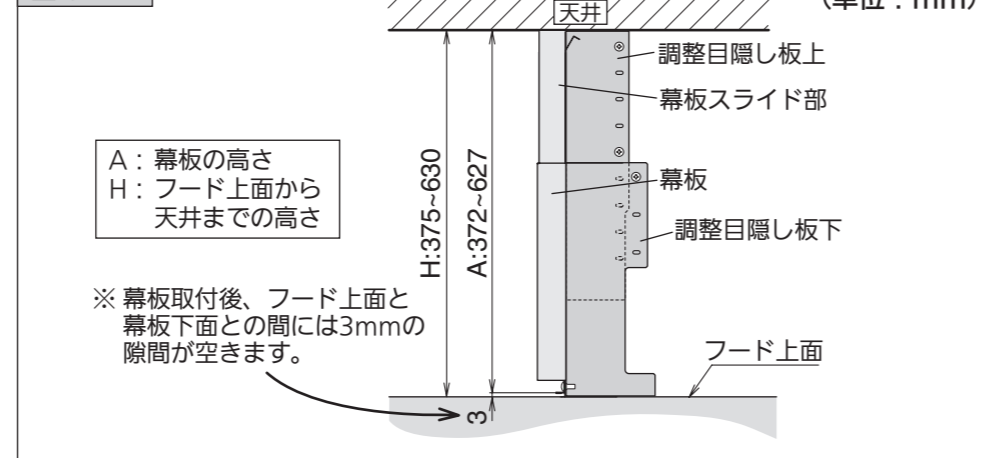
図8-1



■ 幕板取付高さ範囲(図8-2)

次式により幕板の高さを算出し、幕板のスライド部を調整して高さを合わせます。
A(幕板の高さ) = H(フード上面から天井までの高さ) - 3mm

図8-2



※ 幕板取付後、フード上面と幕板下面との間には3mmの隙間が空きます。

1 保護シートをはがします。(図8-3)

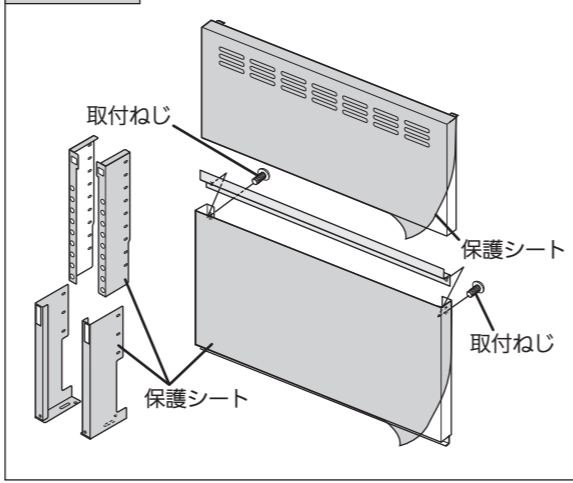
- 1) 幕板裏面左右にある取付ねじ2本をはずして幕板を分離します。

- 2) 幕板および調整目隠し板上・下に保護シートがついている場合は、保護シートをはがします。

お願い

保護シートをはがした後はキズが付きやすいので十分注意してください。

図8-3



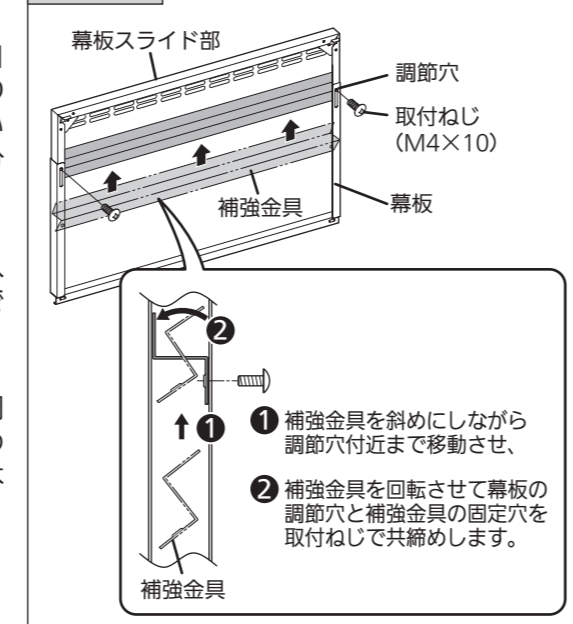
2 スライド部を固定します。(図8-4)

※ あらかじめ「幕板取付高さ範囲」(図8-2)を参照して幕板の高さ調整をおこなってください(幕板をキズつけないよう十分ご注意ください)。

- 1) 補強金具を幕板裏面に差し入れ、幕板の高さ調整穴付近まで移動させます。

- 2) 補強金具を回転させ、幕板の調整穴と補強金具の穴位置を合わせ、取付ねじ(M4×10) 2本で固定します。

図8-4



3 調整目隠し板下(左・右)を取り付けます。(図8-5)

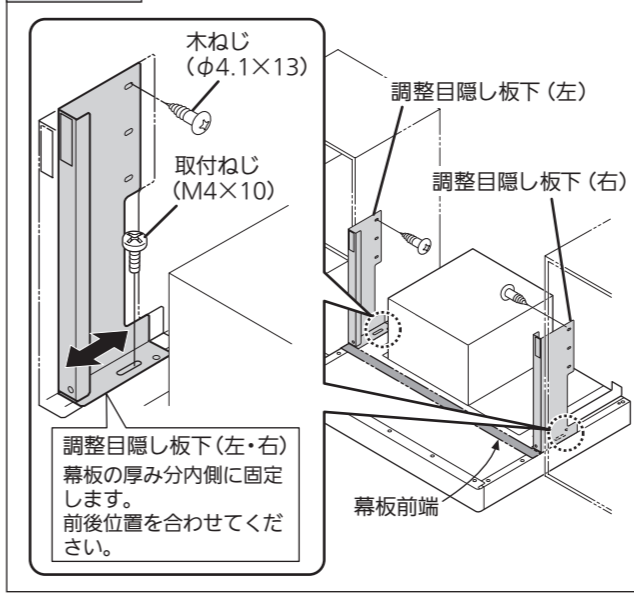
お願い

調整目隠し板上・下を取り付ける際は左右を間違えないようご注意ください。

- 1) 調整目隠し板下を本体とキャビネットの間に挟み込み、付属品の取付ねじ(M4×10)で固定します。

- 2) 調整目隠し板下とキャビネットを付属品の木ねじ(φ4.1×13)で固定します。

図8-5

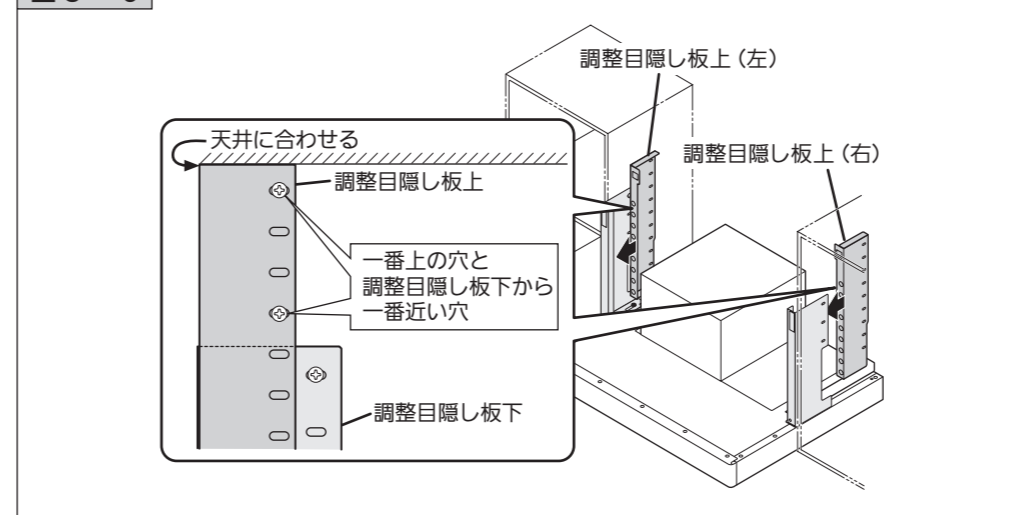


4 調整目隠し板上(左・右)を取り付けます。(図8-6)

調整目隠し板上を調整目隠し板下に差し込み、天井に合うよう位置を調整して木ねじ2本で固定します。

※ 木ねじ2本は、うち1本を調整目隠し板上にある一番上の穴、もう1本を調整目隠し板下に最も近い穴に取り付けてください。

図8-6

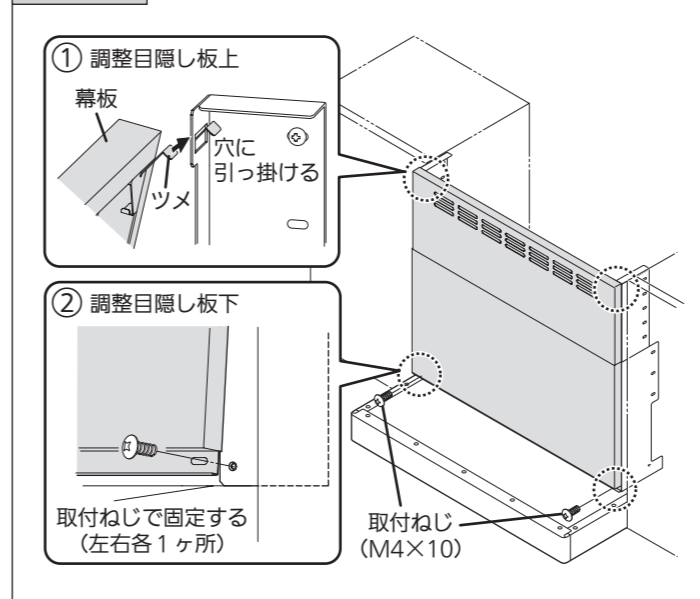


5 幕板を取り付けます。(図8-7)

- 1) 幕板裏面上部にある左右のツメを調整目隠し板上の穴に引っ掛けます。

- 2) 幕板と調整目隠し板下のねじ穴を合わせ、付属品の取付ねじ(M4×10) 2本で固定します。

図8-7



9. 試運転



● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります



接触禁止



接触禁止

- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 最終設置した状態で試運転してください。
- 復元した状態では近接センサーがうまく働かず、運転しづらいことがあります。
- 整流板が正しく取り付けられていないと運転できません。
- 整流板の取り付けについては取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事で発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。
- 製品保護のため、はずした保護用のクッション材と固定テープをもとの状態に取り付けてください。

10. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

【販売元】 フジテックメンテナンス株式会社

〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号

お申し込み・お問い合わせ 0120-953-903 (通話料無料)

FAX 042-768-3383

ホームページ <https://www.fujioh.shop>

受付時間 9:00 ~ 17:30 (土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く)

【製造元】 -FUJIOH- 富士工業株式会社

〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号

お客様ご相談窓口 0120-071-686 (通話料無料)

受付時間 9:00 ~ 17:30 (土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く)